

## 台風19号への対応及び防災対策について



答弁

一定の評価はされたが、課題に対し改善を行っていききたい

議員

避難所の選定方法は。また、近隣自治体との避難所提携はしているのか。

市長公室長

発災直後の緊急的な避難先として、指定避難所の開設を考えている。

防災危機管理課長

昨年度末、鬼怒川・小貝川の沿線13市町村で広域避難の協定を締結し、提携が図られている。

議員

電柱に表示されている想定浸水深の標識やテープの目的は。

防災危機管理課長

水害の甚大な被害を後世に伝え、日頃より洪水への意識を高め、被害を最小限にとどめることを目的として表示している。

議員

豪雨災害から4年が経過し、目的は果たしたのではないかと不安を与える標識ではなく、避難所までの案内看板に変更をしたほうがいいのではないかと考える。

防災危機管理課長

昨年度、6回線から12回線に増設したが、問い合わせが殺到したためつながりにくい状態になった。これを踏まえ再度対策を検討したい。なお、エリアメールは避難指示から活用した。

広瀬 光一 議員

## 国体開催後の本市スポーツ振興等について問う



答弁

3市が広域的に連携し、スポーツを活用した仕組みづくりを検討

議員

さらに、広域的に官民が連携し、スポーツを活用した仕組みづくりを検討している。単独自治体で完結することなく、相乗効果による広域的なまちづくりを意識して取り組んでいく。

議員

広く国民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を目指すという観点から、他の競技についてはどう考えるか。

スポーツ振興課長

幼児から高齢者を含めたすべての市民のニーズに合った教室でスポーツの楽しさに触れ、健康の維持、増進を図っていく。

議員

本市在住及び出身の国体代表選手（指導者を含む）への功労に対する市の考えはどうか。

教育委員会教育部長

本市としてはまだ実施していないが、代表選手等の功績を称えることを検討していく。

議員

人材育成、競技力向上という視点からも功績表彰等を確実にお願いしたい。

教育委員会教育部長

45年前から実施してきた国体記念常総市長杯争奪茨城県中学校ハンドボール大会を新たな大会に切り替え、常総、守谷、坂東の3市開催を検討している。

草間 典夫 議員

用語解説

天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」～翔べ 羽ばたけ そして未来へ～ 10月3日(木)～7日(月)：ハンドボール競技を守谷市、常総市、坂東市の3市合同で開催